２０２２年４月吉日

会員各位

宮城県保険医協会
理事長　井上博之

下記にご署名（ゴム印でも結構です）いただき、ＦＡＸにてご返信をお願い致します。
※宮城県保険医協会【ＦＡＸ：０２２－２６５－０５７６】　※締め切り４月２０日

内閣総理大臣　殿
厚生労働大臣　殿
国会議員　各位

金パラ高騰の異常事態への緊急改定を求める要請署名

ロシアによるウクライナ侵攻という国際情勢の激変を背景に、歯科医療で多く用いる金銀パラジウム合金（金パラ）の価格が高騰しています。歯科医療機関における「逆ザヤ」が急拡大し、パラジウムの価格は 2021 年 12 月から 3 ヶ月足らずで約２倍に急騰し、過去最高の価格となっています。この事態は、歯科医療機関と患者に直結する大きな問題です。厚労省として、この危急の状況への対応を含めた抜本的な改善を強く求めます。

金パラの市場価格について、4 月の診療報酬改定で保険償還価格は 30 グラムあたり 94,470 円に引き上げられましたが、4 月 1 日時点の購入価格は、税込み 10 万円から 13 万円代であり市場価格とは大きな乖離があります。これまでも金パラの「逆ザヤ」は歯科医療機関経営に重くのしかかってきました。改定後も未だに、合金の市場実勢価格を調べずに素材金属の価格変動から保険償還価格を決める点、金属の値動き対応へタイムラグが生じている点など、現場の実態に添った対応がされていません。

現状は紛れもなく非常事態であり、先行きの見通しも極めて不透明な状況となっています。歯科医療現場では失望と怒りの声が上がっています。厚労省は国民に安定して歯科医療を提供できるよう以下の対応を講じるよう強く求めます。

記

一、2022 年 1 月以降の金パラ実勢価格と保険償還価格の差を補填する緊急対応を行うこと
一、対応においては、患者負担増とならない手立てを併せて講じること
一、2022 年 4 月以降の制度改善にとどまらず、抜本改善へのさらなる検討をすすめること

私の一言

住　　所：

医療機関名：

氏　　名：